

- ISM製造業景気指数は60.2と、引き続き米国企業の景況感が良好であることを裏付け。新規受注指数や受注残高指数の水準からは、先行きの生産活動の活発な動きが示唆される。
- FOMCの政策金利見通しが引き上げられ、年内残り2回の利上げが見込まれるなか、長期金利の上乗せプレミアムはマイナスとなっており、当面、米長期金利の上昇ペースは緩やかと想定される。

## 米国企業の景況感は引き続き良好

6月の供給管理協会（ISM）製造業景気指数<sup>\*</sup>は60.2と、前月の58.7から上昇しました。内訳をみると、供給業者の納入指数が68.2と2004年5月以来の高水準に上昇したことが総合指数を押し上げました。生産が需要に追い付かないなか、納入にかかる時間が伸びていると考えられます。また、新規受注指数や受注残高指数が高水準にあることから、先行きの生産活動の活発な動きが示唆されます。

このほか、価格指数は76.8と、2011年4月以来の水準を記録した5月の79.5からやや低下したものの、高水準となっています。企業担当者からは、素材価格や輸送コストの上昇を指摘する声もみられ、物価上昇圧力が高まっているとみられます。

<sup>\*</sup>ISM製造業景気指数は米国における企業の景況感を表す代表的な指数の1つ。50を上回ると景気が良い、下回ると悪いとされる。

## 金利上昇ペースは緩やかなものにとどまると想定

6月の米連邦公開市場委員会（FOMC）では、2018年末の政策金利見通しが引き上げられ、市場では年内残り2回の利上げが見込まれています。6月のISM製造業景気指数の内容は、こうしたFOMC政策金利見通しを裏付ける格好となりました。

もっとも、米企業の良好な景況感が長期金利に与える影響は限定的と思われる。長期金利は様々な要因によって変動しますが、その要因の1つである長期金利に対する上乗せプレミアムをみると、世界の中央銀行が金融危機後に量的緩和策を実施したことなどを背景に低下基調が続き、2015年以降はおおむねマイナスで推移しています。足もとでは緩和策打ち切りの動きもみられるものの、中央銀行の保有資産残高は大幅に拡大しており、現在のペースでの資産圧縮による上乗せプレミアムへの影響は限定的とみられます。

こうしたことを考えると、当面、米長期金利の上昇ペースは緩やかなものにとどまると想定されます。

<sup>\*</sup>上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

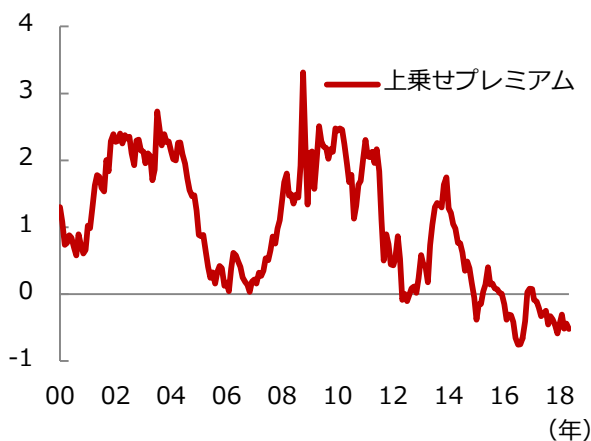
<sup>\*</sup>巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

## ISM製造業景気指数の推移



※期間：2013年1月～2018年6月（月次）

## 米長期金利上乗せプレミアム



※期間：2000年1月～2018年5月（月次）

出所：NY連銀、ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（REIT）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

#### ■ その他費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、
  1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。
  2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
  3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

### 【指数の著作権等】

- ISM製造業景気指数は全米供給管理協会が発表する指数です。